平成１７年度 情報モラル指導カリキュラム① 「情報モラルの基本的な内容と指導項目」 尼崎市立成文小学校

		情報モラルの基本的な内容	具体的な指導項目・キーワード 低学年	中学年	高学年
A 情報の受信	態度マナー	ア、人の立場や気持ちを考えて聞く、見る、読む			
		①発信者､発言者の立場や気持ちを考えて聞く､見る､読む。	・友達の状況や気持ち	・人の状況や気持ち	・見えない人(ネット上)の状況や気持ち
		②場面や相手に応じて、適切な態度で聞く、見る、読む。	・授業中、遊び時間・気持ちを表す態度 礼儀　・先生、家族、友達など	・学校生活　社会生活　・礼儀 ・知人、直接会った人・インターネット	・あらゆる生活場面 ・見えない人(ネット上)　・礼儀
		③相手が言いたくないこと､知られたくないことを無理に勝手に知ろうとしない。個人の情報を漏らさない。	・友達のプライバシー ・住所、電話番号を簡単に教えない ・取材、撮影は相手の許可を得る	・人のプライバシー ・ＩＤ，パスワード	・「プライバシー」「個人情報」「肖像権」の意味理解
	情報の適切性	イ、内容を考えて適切に聞く、見る、読む　（情報の適切な受信・判断・選択）			
		①情報（相手の話や発表、説明、作品など）は内容を理解しながら、しっかり聞く、見る、読む。	・授業中の発表　・作品鑑賞 ・友達との会話	・各種のメディア(新聞･テレビ･ネット) ・地域社会の人々　・要点をおさえる	・双方向通信メディア・メディア全般 ・ネット社会の人々
		②よいこと、悪いこと（悪口・不道徳など)、適切、不適切の判断をする。	・友達の発言や行動の善悪　適切・不適切性	・地域社会での行為 ・ネット情報の善悪、適切・不適切性 ・大人（親、教師）の協力　・自己判断	・ネット社会全般での行為、人々 ・チェーンメール　・大人の協力 ・人権尊重　等の一般的な知識理解
		③必要なこと、大事な内容（情報）を選ぶ。	・連絡事項　自分との関わりのある話	・目的に応じた情報収集、選択	・必要性、有用性ある情報収集、選択
		④正しい情報、安全な情報、確かな内容（情報）を判断する、選ぶ。	・発言についての確認、判断 ・うそ　デマ　風評　誤解	・複数の情報、方法での確認 ・信頼性のおける機関の情報 ・新しい（更新）情報の入手	・振り込め詐欺　・フィッシング ・なりすまし　・セキュリティ ・ウイルス　等の一般的な知識理解
B 情報の創造・活用	態度・マナー	ア、自分の生活、人の立場や気持ちを考えて創る（書く・入力する・作成するなど)・使う・活かす			
		①他人の作品、著作物を勝手にマネしない。	・作文､作品など友達の製作物 ・カンニング､答え丸写し ・物の貸し借りは相手の了解を得る	・キャラクター、発明、技術、文章（ネット上も)・商品名など ・資料作成では引用文献の出所を明記	・「著作権」､「肖像権」の意味理解 ・作成者、発明者の利益保護　・道徳
		②情報機器は、使い方や時、場所、相手の状況を考えてよりよく使う。	・テレビ(番組)　ゲーム機器、ソフト、まんが雑誌、カメラ等　・家庭	・インターネット　・ビデオ　・電話 ・公共の場　・生活時間　・相手の都合	・メールと携帯電話　・公共の場 ・生活時間・相手の都合　・社会常識
		③情報機器は、メリット・デメリットや健康面を考えてよりよく使う。	・娯楽　・気分転換 ・ゲーム脳　・生活リズム　・眼精疲労	・ネットのメリット　デメリット ・インターネット中毒	・携帯電話､メールのメリット､デメリット・携帯電話、メール中毒､依存症
	情報適切性	イ、内容を考えて適切に創る・使う・活かす　（適切な情報の創造および機器の活用）			
		①内容に責任をもって創る。 ＊善悪　＊適切・不適切　＊正しい情報､確かな内容	・悪口や落書きをしない	・プライバシー、個人情報、データ ・客観的事実　・個人見解	・プライバシー、個人情報、データ ・客観的事実　・個人見解
		②相手にわかりやすい内容・構成を考え創る。	・主語（だれが）内容（いつ、どこで、何が）述語（どうした）が明確な内容	・見る側(受信者）を考えてわかりやすく創る。　・レイアウト　・内容構成	・メール文の書き方・見る側の気持ち ・不特定、多数が見る場合（ネット上）
C 情報の発信	態度・マナー	ア、人の立場や気持ちを考えて表現・伝達する（話す・提示する・見せるなど）			
		①相手の状況や場に応じた適切な方法で表現、発信する。 ＊表現内容　＊言葉遣い・形式　＊表現手段・方法 ＊場所・時間・状況	・状況や気持ち　・ていねいな言い方 ・あいさつ　・先生､親､友達など ・直接表現（言う）間接表現（書く） ・授業中、遊び時間、生活時間	・ネット社会ー不特定、多数、見えない相手 ・地域社会、一般社会、公共でのマナー	・メールの適切な送受信方法、マナー ・携帯電話の適切な活用方法、マナー 時間、場所、相手、礼儀、留意点
		②自分からすすんで発表・表現する。	・授業での発表、貢献	・自己表現の有用性、必要性	・社会的貢献、コミュニケーション
	情報適切性	イ、表現手法を工夫して適切に表現・伝達する　（適切な情報の発信および機器の活用）			
		①情報機器を適切・効果的に使い、提示や発信する。	・ペーパーメディア､絵・写真､パソコン ・話す・書く・提示する・見せる	・パソコン　プロジェクタ ・相手にわかりやすい表現のしかた	・情報機器全般・携帯電話での話し方 ・相手にわかりやすい表現のしかた
		②責任を持って情報発信する。＊正しい情報､確かな内容 ＊善悪　＊適切・不適切　＊相手にとって必要な情報	・自分の発言や行動の善悪　適切・不適切性　・うそをつかない　確かな発言	・「情報モラル」の言葉の意味理解 ・自分のことばに責任を持つ	・発信者、受信者、発信方法、発信内容を考えた「情報モラル」

低学年：友達や家族、教師、近所など「自分と身近な人々との関わり」、学校生活、家庭生活など「日常的な生活場面」において、具体的に指導していく。
中学年：「ネットワーク社会において間接的に結びつく人々や地域社会の人々との関わり」、学校生活、家庭生活など「日常的な生活場面」において、具体的に指導していく。
高学年：「一般社会の人々との関わり、身近な人々との親密な関わり」、「社会的な生活場面」および「日常的な生活場面」において、具体的に指導していく。

ホームページ「しまちゃんの情報モラル特別講座」公開中　下のＵＲＬをクリック
http://www.eonet.ne.jp/~sima/

平成１７年度 情報モラル指導カリキュラム②　情報モラル　学年別年間指導計画

尼崎市立成文小学校

『情報モラル指導カリキュラム①「情報モラルの基本的な内容と指導項目」』に基づいた学年別指導計画

		１学期 （主としてマナー、社会的意義）	２学期 （主としてメディアの活用）	３学期 （情報機器の活用と健康・生活）	日常的な指導 （公共マナー、言葉の遣い方）	総合・各教科の学習で関連指導 （著作権・肖像権・個人情報・教科関連）
１年	テーマ	コンピュータ室の使い方	コンピュータでできること	情報機器の活用と健康・生活	日常生活でのマナー	個人情報 肖像権 著作権　自他のけじめ
	内容	・コンピュータ室でのマナー ・コンピュータの使い方	コンピュータでできることを知る ・おえかき　・インターネット ・ゲーム　・メール　・保存 ・デジカメ写真を開く ・使うときに気をつけること	テレビやマンガの見方 ・生活リズム　・健康面	ことばの遣い方、あいさつ ・相手　・気持ち　・落書き ・言葉の暴力・丁寧な言い方 授業態度 聞く 見る 話す 書く 勝手に人のものを使わない	・住所、電話番号を簡単に教えない ・取材、撮影は相手の許可を得る ・自分の持ち物や作品には名前を記入 ・テスト中の友達の答えを見ない ・学校探検での取材のマナー（生活科）
２年	テーマ	校内の情報設備　活用マナー	デジタルカメラのよりよい活用	情報機器の活用と健康・生活	日常生活でのマナー	肖像権 著作権　取材・マナー
	内容	情報施設設備 活用方法とマナー ・図書室　・コンピュータ室 ・放送室　・視聴覚室　・教室 メディア機器…　図書　テレビ コンピュータ　黒板　放送	・デジタルカメラでできること よさ　活用方法 ・撮影は相手の許可がいる ・友達の画像を勝手に使わない	ゲーム機の使い方 ・ゲーム機器のよさ　・健康面 ・仮想世界と現実　・マナー テレビの見方 ・生活リズム　・番組を選ぶ	ことばの遣い方、あいさつ ・相手　・気持ち　・落書き ・言葉の暴力・丁寧な言い方 授業態度 聞く 見る 話す 書く ・具体的な言い方	・取材、撮影は相手の許可を得る ・勝手に人の作品や答えをマネしない ・作品鑑賞のマナー　（図工・音楽） ・まち探検での取材マナー（生活科） ・社会見学のマナー（学年行事）
３年	テーマ	地域社会との関わり方を考える	インターネットのよりよい活用	情報機器の活用と健康・生活	公共の場（学校・学級）でのマナー	著作権　取材・マナー
	内容	校区、地域のために働く人々 ・安全面　・文化面　・環境面 地域社会の人々との関わり方 ・感謝　・接し方　・ 校区探検のしかた、マナー ・取材の仕方	インターネットでできること 便利な検索サイトの活用 世界中とつながるネット ・不特定多数　見えない相手 ・確かな情報ー複数の情報で確認 ・偶然出合う有害サイト	コンピュータでできること ・コンピュータでできること 保存　加工　提示　情報収集 ネットワーク活用 ・使うときに気をつけること ・健康面	ことばの遣い方 ・確かな情報、うそ、デマ ・具体的な言い方 主語（だれが）内容（いつ、どこで、何が）述語(どうした)	・資料作成の際、参考文献引用文献は出所を明記　ネット上の文献も ・校区探検　取材のしかた（社会科） ・１日の生活のしかた（保健） ・インタビューしよう（国語） ・手紙で伝えよう（国語）
４年	テーマ	インターネットと個人の関わり	インターネットのよりよい活用	情報機器の活用と健康・生活	公共の場（学校・学級）でのマナー	著作権　公共の場
	内容	・不特定多数　見えない相手 ・正しい情報　確かな情報 ＩＤとパスワードの意味･意義 会員登録　個人情報 公共機関のデータ	・不特定多数　見えない相手 ・正しい情報　確かな情報 インターネットの罠 ・ホームページの著作権	・情報機器と生活 生活の中でどんな機器がどのように活用されているか 利便性と留意点	ことばの遣い方 ・確かな情報、うそ、デマ ・具体的な言い方	・資料作成の際、参考文献、引用文献は出所を明記　ネット上の文献も ・ポスターセッションで発表（国語） ・公共施設見学（社会科） ・公共機関の調べ方（社会科）
５年	テーマ	ネット社会を考える	インターネットのよりよい活用	情報機器の活用と健康・生活	社会の一員としてのマナー	ネット社会　生活時間 情報発信・受信
	内容	・ネット社会がもたらす恩恵と問題点 個人　家庭　学校 社会 コンピュータ 携帯電話 メール	・ダウンロードの危険 ・ウイルス、スパイウエア ・情報の流出	・ネット中毒　依存症 ・携帯中毒　依存症 ・生活リズム　・脳の働き ・よりよい活用	相手に応じた適切な言葉遣い ・場所　相手　態度	・情報を正確にとらえよう（国語） ・インターネットで調べよう（国語） ・世界を結ぶ通信、情報（社会科） ・生活時間の工夫（家庭科）
６年	テーマ	適切な発信のしかた、マナー	メールの活用	携帯電話の活用とルール	社会の一員としてのマナー	著作権 肖像権 生活リズム 情報発信
	内容	・メールの書き方､発信のしかた ・電話のかけ方	・気をつけたい受信メール なりすまし　チェーンメール スパムメール　メールバトル ウイルスメール　架空請求	・生活に活かす携帯電話 ・携帯電話の罠、トラブル ・公共のマナー ・撮影のマナー	・場所　相手　態度	・著作権、肖像権の意味理解 ・生活のしかたと病気の予防（保健） ・情報の伝え方を考えよう（国語）

ホームページ「しまちゃんの情報モラル特別講座」公開中　下のＵＲＬをクリック

http://www.eonet.ne.jp/~sima/

平成１７年度情報モラル指導カリキュラム③

年間指導計画についての解説

＜１学年＞

★１学期テーマ　「コンピュータ室の使い方」

生活科では「学校探検」で校舎内の色々な特別教室や設備を見てまわります。そして、その目的にあった設備と利用のしかたがあることを学習します。その後、コンピュータ室での学習をするにあたり、具体的にコンピュータ室でのマナーを指導します。

★２学期テーマ「コンピュータでできること」

「ペイント機能を使った作品作りと保存」「インターネットサイトの使用」は、学習を通して経験しています。ここでは、それらの経験を通して「コンピュータでできること」を確認し、機器の扱いで気をつけたいことを指導します。

★３学期テーマ「情報機器の活用と健康・生活」ーテレビやマンガの見かたー

テレビやマンガの見方について指導します。生活リズムや健康面に気をつけさせます。

＜２学年＞

★１学期テーマ　校内の情報設備　活用マナー

校内の情報に関わる施設、設備についての使用目的や活用マナーを学習します。

★２学期テーマ「デジタルカメラのよりよい活用」

デジタルカメラのよさは、手軽で現像不要、保存、コピー、加工可能なことなどです。撮影は相手の許可がいること（肖像権）、友だちの画像を勝手に使わないこと（著作権・肖像権）を指導します。

★３学期テーマ「情報機器の活用と健康・生活」ーゲーム機の使い方ー

ゲーム機は子どもの遊び道具、娯楽として大きな役割をはたしています。健康面や生活リズムを考えよりよい使い方を考えます。また、ゲームソフトも過激な表現のものは、できるだけ控えさせたいものです。テレビの見方も同様です。

＜３学年＞

★１学期テーマ「地域社会との関わり方を考える」

社会科の校区探検と関連して指導します。、地域社会の人々との関わり方を考えた上で、取材の仕方マナーなどを学習します。

★２学期テーマ　「インターネットのよりよい活用」ーインターネットでできることー

ここではインターネットを WEB ページの意味で扱います。インターネットの活用用途を考え利便性を認識するとともに、偶然出会う「有害サイト」などを学びます。

★３学期テーマ「情報機器の活用と健康・生活」

脳の前頭前野とよばれる部分は、記憶や学習能力を発達させる重要な部分です。ゲーム機が前頭前野の発達を妨げるという科学的根拠は今のところありません。しかし、「音読」「計算練習」をしている時の方が、前頭前野は活発になることが裏付けされています。

＜４学年＞

★１学期テーマ　「インターネットのよりよい活用」ー ID とパスワードー

４年生から実際に ID とパスワードを使用します。ID とパスワードは、個人のデータを他人に見られないための鍵で、他人に教えないことを指導します。（個人情報とプライバシー）また、会員登録は「個人情報」の登録でもあり気をつける事も合わせて指導します。

★２学期テーマ　「インターネットのよりよい活用　①インターネットの罠　②著作権」

①言葉巧みに誘いをかける様々な有害サイトを色々な事例から具体的に学びます。

②ホームページの著作権。教育的な引用であっても文献の著作権自体は存在します。

校内発表であっても引用文献の出所を明記することで意識づけさせたいものです。

★３学期テーマ「情報機器の活用と健康・生活」ー情報機器と生活ー

生活の中でどんな情報機器がどのように活用されているか、発達してきたかを探ります。

＜５学年＞

★１学期テーマ「ネット社会を考える」

ネット社会がもたらす恩恵と問題点を「個人、家庭、学校、社会」それぞれの場において考えていきます。コンピュータ　携帯電話　メールなど

★２学期テーマ「インターネットのよりよい活用」ーウイルス・スパイウエアー

ウイルス、スパイウエアの知識理解と防御、駆除について学びます。

★３学期テーマ「情報機器の活用と健康・生活」ーネット中毒・依存症ー

情報機器の健全でよりよい活用のありかたを学習します。

＜６学年＞

★１学期テーマ「適切な発信のしかた、マナー」

メールの書き方や発信のしかた、電話での話し方、聞き方について具体的に学びます。

★２学期テーマ「メールの活用」

気をつけたいメールとして「なりすまし」「チェーンメール」「スパムメール」「メールバトル」「ウイルスメール」「 架空請求」などについて学びます。

★３学期のテーマ「携帯電話の必要性、ルールとマナー」

早い子は携帯電話を持つ年頃です。様々な携帯電話の罠、トラブルが現実に発生していることをふまえ、責任ある適切な使い方が求められることを教えます。

（その他 チャット、掲示板については児童の実態に即して担任の判断で扱うものとする）

日常的な指導

日常の生活場面や人との関わりにおいて指導していきます。

総合・各教科の学習で関連指導

総合的な学習や教科の学習内容に沿って関連的に指導します。取材や資料作成を通して著作権・肖像権、取材のマナーについて具体的に学びます。国語では、表現手段や情報活用に関わる単元で学習していきます。保健や家庭科では、健康・生活リズムに関わります。